



公益財団法人SAJ

# SAJ Farm 通信

vol.52 11月号  
2014年

公益財団法人  
School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

## レモングラスの現状と今後

今年カンボジアでは4年ぶりに水祭りが開催しました。4年前に大勢の人が将棋倒しになり、300名の方が亡くなるという事故があったり、前国王の崩御や洪水による被災などでここ3年行えていなかったのですが、今年は開催されました。カンボジアの水祭りでは各州の代表によるボートレース、燈籠流し、花火など盛大に行われます。4年ぶりということもあり、地方の人も大勢プノンペンに行っていたようです。来年は11月24日～26日に開催されるそうです。興味のある方は是非カンボジアまでお越しください(もし仕事などでカンボジアに来るのであればこの時期はご遠慮された方が良いでしょう)。

今回はSAJ Farmの柱であるレモングラスの作業と出荷について報告させていただきます。

### ①レモングラスの作業について

7月までは収穫作業に重点を置き、1ヶ月に1回の頻度で収穫していたのですが、次第に株が小さくなり、収穫量が減ってしまいました。そこで8月からレモングラスの養生を開始しました。養生というと何か特別なことをしているようですが、単純に除草作業と鶏糞の追肥を行い、2～3ヶ月かけてレモングラスを育てました。雨季の雑草の伸びるスピードは早く、鋤での除草は大変だったのですが、スタッフと一生懸命作業してレモングラスを大きくすることに成功しました。ここ2,3ヶ月は除草作業中心となったため、地味な作業が続くのですが、そういう地味な作業こそ重要なのだと改めて思い知らされました。具体的には、7月に収穫していたものと比べ、1株当たり9倍くらいの量を収穫できるようになりました。今のところ養生して大きくなった圃場の面積は約70a (=7,000㎡)程度なので、これからはその面積を増やし、より多くのレモングラスを出荷できるようにしていきたいと考えています。

また、8月からはレモングラスの更新も行いました。レモングラスは株元から5cmほど上の部分を刈り取り、残った株からまた伸びるので何度か収穫することが出来るのですが、作付を開始して3年ほど経つと生長が緩慢になるそうなので、2012年度に植えた畑や2013年度



養生して大きくなったレモングラスの畑。大きいものだと草丈1.5m、茎の数100本にもなります。



除草作業。大変な作業ではありますがスタッフと共に頑張っています。

に植えたが株があまり生長しなかった畑に植えなおしを行いました。植えなおす前に鶏糞を10a 当り 1t 目安で散布し、80cm×50cm の間隔で定植作業を行いました。11月に植えた苗は上記した養生して大きくしたものを使用しました。養生した苗は株元に養分を溜めているため大きくなりやすく、非常に良い苗でした。今年度は約80aの畑を更新し、今では養生している畑に迫るくらい大きくなっています。

カンボジアはこれから乾季に入るため、今後は灌水作業が重要になってきます。上記した養生している畑、更新した畑を中心に灌水作業を行い、来年度にはより多くのレモングラスを出荷できるようにしていきたいと思

## ②レモングラス出荷方法について

レモングラスは今まで乾燥・裁断したものを出荷していました。6月からは少量ですが、日系のレストランに生のものを裁断して出荷し、お店では冷凍保管して使用していただいています。乾燥した方が保管は容易ですが、その分風味が少なくなり、レモングラスの良さが減少してしまいます。逆に生の状態だと風味は非常にいいのですが、保管が難しくなります。冷凍で多量のレモングラスを保管しようとするれば保管の設備や電気代がかかってしまい、なかなか現実的ではありません。そういった中、SAJ Farm では現在、レモングラスの精油を抽出する取り組みを開始しました。収穫したものをすぐ農場で精油にすることで品質も良いものができる、保管も容易になると思われます。また、精油することで容積がかなり小さくなるので、輸送のコストを下げることができます。本格的な精油装置を購入するとお金が結構かかるので、まずは手に入るもので試験的に精油を開始し、うまくいきそうであれば本格的に行っていく予定です。

来年度は今よりもレモングラスの出荷量を増やして賑やかな農場にし、地元の農家さんにも何をやっているのかと注目されるような農場にしていきたいと思

います。ちなみに、レモングラスの精油には心を落ち着かせる作用、鎮痛・抗菌・抗真菌作用、防虫作用、消臭作用があるそうです。レモングラスの収穫量も増えてきたので、何とか精油の製造を軌道に乗せ、一人でも多くの人に役立てていただけるよう、スタッフ共々頑張っていきたいと思



定植作業。養生して大きくした苗は育ち方もいいです。



左：養生前に収穫していたサイズ  
右：今のサイズ  
重量で9倍になりました。

## 編集後記

今回、レモングラスの出荷方法について書かせていただいたのですが、カンボジアではこのような悩みは稲以外のほかの作物にも当てはまります。カンボジアでは作物を販売する為のインフラがまだまだ未熟です。インフラの整備が進めばカンボジアの農家さんの生産意欲が増し、カンボジアの農業が益々発展していくのではないかと思います。インフラとなると我々もできることとできないことはありますが、できることは全力で取り組み、地元の農家さんに少しでも貢献できるようにしたいと思います。

早藤